

平成21年度事業報告

〔平成21年 4月 1日より
平成22年 3月31日まで〕

1. 会員の異動

本年度中の入会並びに退会及び会員数は次のとおりである。

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	計
平成21.3.31現在	37	4,612	211	249	5,109
入 会	0	186	94	1	281
退 会	0	330	213	11	554
転 格	2	(-2)	—	—	2 (-2)
死 亡	2	9	—		11
平成22.3.31現在	37	4,457	92	239	4,825

2. 役員、評議員の現員

理 事 24名 (内、会長1名、副会長3名、常務理事6名)

監 事 3名

評議員 92名

3. 総会

第42回 通常総会を次のとおり開催した。

日 時 平成21年 5月15日 午後3時より

場 所 東京大学 農学部 弥生講堂 一条ホール

出席者数 2,407名 (委任状を含む)

議事または承認事項

1. 平成20年度事業報告について
2. 平成20年度収支計算書ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について
3. 平成21年度事業計画書(案)について
4. 平成21年度収支予算書(案)について
5. 名誉会員の推薦について
6. 役員の一部改選について

4. 役員会並びに評議員会

理事会 7回

評議員会 1回

5. 機関誌刊行

「都市計画」 第278号 平成21年 4月25日

第279号 平成21年 6月25日

第280号 平成21年 8月25日

第281号 平成21年10月25日

第282号 平成21年12月25日

第283号 平成22年 2月25日

「都市計画報告集」No.7 (CD-ROM) 平成21年 4月25日

「都市計画論文集」No.44-1 (CD-ROM) 平成21年 4月25日

「都市計画論文集」No.44-2・3(CD-ROM) 平成21年10月25日

「都市計画論文集」No.44 (冊子) 平成21年10月25日

6. 学術研究論文発表会の開催

日 時 平成21年11月14日、15日

場 所 長岡技術科学大学キャンパス

研究発表 151題

参加人数 432名

7. 都市計画セミナー開催

日 時 平成22年 1月26日、27日

場 所 早稲田大学国際会議場

メインテーマ 「エコ・コンパクトシティを目指した都市計画の展開」

参加人数 278名

8. まちづくり懇話会等の開催

まちづくり懇話会

第115回

「都市農地・農業への視線の転換—都市と支え合う農業の構築」

平成21年 7月 1日

第116回

「江戸から東京そして世界都市東京へ

—日本橋・銀座・丸の内の歴史と文化の遷り変わりを読み解く」

平成21年10月 7日

第117回

「我が国を牽引する首都圏の成長戦略

－国際空港機能の強化と拠点への集積、それらを連絡する空港アクセスの充実」

平成22年 3月 2日

見学会

第16回

「水辺に広がる新しい街、そして様々なエコの取り組み

－『越谷レイクタウン』を見る」

平成21年10月23日

9. 都市計画メールニュース配信

No.486～No.738

10. 海外向け「ニュースレター」の発行

No.32 平成22年 3月

No.33 平成22年 3月

11. 都市計画 CPD の推進

CPD 会員数 9,364名

CPD ニュース No.29～No.40号発行

認定プログラム 221件 . 認定技術会議 9件

12. 学会賞授与

石川賞

都市計画における住民主体のまちづくりワークショップの普及・啓発と手法論としての体系化

千葉大学大学院園芸学研究科教授 木下 勇

都市物流計画の体系の確立と普及に関する活動

東京海洋大学理事・副学長 苦瀬 博仁

数理的都市計画に関する一連の研究

南山大学教授／筑波大学名誉教授 腰塚 武志

論文賞

都市空間の解析に関する一連の研究

筑波大学大学院システム情報工学研究科教授 大澤 義明

論文奨励賞

協議型建築物高さ制限の導入可能性に関する研究

東京工業大学大学院社会理工学研究科特別研究員 大澤 昭彦

土地区画整理事業の推進力に関する実証的研究

日本大学理工学部土木工学科専任講師	大沢 昌玄
フランスの都市圏における広域都市計画（SCOT）制度に関する研究	
東京大学先端科学技術研究センター都市保全システム分野	岡井 有佳
都市域における外部経済効果に基づく樹林地配置の評価	
（株）損保ジャパン・リスクマネジメント研究開発部主任研究員	小林 優介
東京周辺区部における緑地施策の変遷と展開に関する研究	
東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課	竹内 智子
ポスト・オスマン期のブリュッセルにおける都市美理念とその実践に関する研究	
（財）東京市政調査会	田中 暁子
戦後日本における都市再開発の形成と展開に関する史的研究	
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻特任助教	初田 香成
スウェーデンの都市計画における分権と調整のシステムに関する研究	
経済協力開発機構（OECD）	松本 忠

功績賞

新谷 洋二	東京大学名誉教授
川上 秀光	東京大学名誉教授

国際交流賞

陳 亮全	国立台湾大学建築與城郷研究所教授 (CHEN Liang-Chun)
------	---------------------------------------

年間優秀論文賞

バス LOS を考慮した被験者分類と MM による行動変容に関する研究	横溝 恭一・森本 章倫
中華民国期蘇州における都市改造と住宅地開発に関する研究	箕浦 永子
番匠谷堯二の中東・北アフリカ地域における業績について	松原 康介
都市計画マスタープラン制度における都道府県と市町村の調整に関する研究	森山 長和・中村 隆司
メトロ・マニラにおけるゲーテッド・コミュニティの実態に関する研究	河原 真麻・土肥 真人・杉田 早苗
乗合バス事業の費用関数推定による規制緩和の影響分析	柿本 竜治
開発計画のデザイン指導と審査の方法論についての一考察-イギリスの CABC の試みに注目して-	

坂井 文

インドネシア・ボロブドゥール地方・チャンディレジョ村にみるコミュニティ主導型のグリーンツーリズムの実現プロセスに関する研究

ティティン ファティマ・神吉紀世子

高度地区による絶対高さ制限の導入の効果分析

青木伊知郎

小地区短期間多地域データからの地区成分解析

古藤 浩

1.3. 研究交流助成実施

研究交流特別委員会

平成19年度から3ヶ年度の予定で助成活動を始め、最終年度の共同研究組織（種別A・B）と社会連携交流組織（種別C・D）の2つの組織分野で、公募を実施し、全部で7件（種別A-2件、種別C-4件、種別D-1件）を研究交流特別委員会で審議、理事会で採択し、通知後それぞれの組織を展開中である。

※種別A・Cが助成あり、種別B・Dは助成なし。

1.4. 学際的・国際的学術交流

1. 国際都市計画シンポジウム2009を開催した。

日 時 平成21年 8月26日～28日

場 所 台湾台南市 Chang Jung Christian University

メインテーマ Urban Regeneration and Innovation

参加人数 学会員37名

論文数 64編（CPIJ18編、KPA27編、TIUP19編）

2. APPR (Asian Pacific Planning Review) を、「変貌するアジア太平洋都市の計画とデザイン」と題し、企画して最終段階（印刷中）にある。

1.5. 委員会活動

受託研究調査に関して、下記の委員会を設置し実施した。

- ・省CO₂型地域・都市づくりガイドブックに関する自治体向け解説セミナーの開催に関する業務
- ・大手町まちづくりのランドデザイン改訂業務
- ・新産業の森まちづくり支援業務
- ・都市計画技術者の技術力評価方法に関する検討調査業務
- ・低炭素まちづくり推進指針調査業務
- ・民間事業主体における低炭素に配慮した都市づくりに係る基礎調査業務
- ・低炭素型地域・都市づくりセミナーの実施業務

- ・低炭素に配慮した都市づくり実行モデル検討調査業務

16. 支部活動

北海道・中部・関西・中国四国・九州の各支部はそれぞれ総会を開催し、交流を深め、地域連携強化を図るためにそれぞれの地域に応じたテーマで講演会・見学会・シンポジウム・研究発表会等を企画し活発に活動した。

また東北地区では、支部設立の事前検討の研究会が活動を実施して、東北支部設立準備委員会を組織し、平成22年 3月19日に東北支部設立準備総会を仙台市で開催した。